

アナログプレイヤーの比較試聴(11)

—モーツアルトを聴く(11)—

1. 始めに

前報(10)に引き続き、アナログプレイヤー3機種と比較試聴を実施していきます。

2. アナログプレイヤーの比較試聴方法

アナログプレイヤー3機種の試聴経路は前報(1)と同様です。

音源は、モーツアルトのアナログ盤を使用していきますが、今回は室内楽です。

PHILIPS SFL-9672-3

モーツアルト セレナーデト長調他

イ・ムジチ合奏団

3. アナログプレイヤーの比較試聴結果

この盤には、お馴染みのモーツアルトのセレナーデ2曲とデヴェルティメント3曲およびアダージオとフーガハ短調が収められています。盤質はそれほどよくありません。

ZANDEN Model120 経由の LINN LP-12 と Grrad401 では、RIAA、正相、第4時定数 High で聴いていきます。

ThorenTD124 の再生では、盤質はそれほどよくありませんが、厚みのあるウォームトーンで、いかにもイ・ムジチらしい快活な音になっています。

LINN LP-12 の再生では、穏やかで柔らかい音質で艶のある弦には一定のディテールの再現もあります。

Grrad401 の再生では、LINN LP-12 の再生によく似た音質ですが、ディテールの再現には及ばないところがあります。

4. まとめ

3機種3様の再生パフォーマンスが確認できましたが、盤質はそれほどよくありませんが、これまでにない穏やかで優雅な演奏が聴き取れます。

以上